

ビーチスポーツフェスタ開催に至る経緯と今後の取組みについて

恵まれた自然環境を活かし、スポーツプロジェクト構想の実現に取り組む



中倉 広文議員

昨年行われたビーチスポーツフェスタは、町内外より多くの来場者があり、本町の「スポーツと観光」というキーワードに沿った大変意義のあるイベントとなった。このイベントの開催に至るまでの経緯と会場の選定はどのようなにされたのか。

自然を活かした地域活性化と各種産業振興

町長

太平洋に面する「くにの松原」は、日本の白砂青松百選にも選ばれ、人々に親しまれている。この恵まれた自然を活用しながらスポーツ観光による交流人口の拡大をはかり、各種産業の振興方

策を探ることからビーチスポーツフェスタ開催へ至った訳である。会場については台風などの影響の少ない内陸で、また、

地区住民の自主的イベントとの共同開催である。

今後の大会規模はどのように予想されるか

中倉議員

本年以降、大会規模はどのように予想されるか。また、大会規模により会場の変更はありうるのか。

昨年を超す動員が期待できる

町長

昨年行われた会場は、すばらしい環境であること高い評価を頂いていることから、ビーチスポーツの場所としては、昨年の会場を選定していききたいと考えている。

まちづくり推進室長

今後の大会規模としては、鹿児島県ビーチバレー協会や九州ビーチバレーリーグ・鹿児島県ドッチボール協会・鹿児島県サッカー協会など関係機関の全面的な協力により、規模、回数共に昨年を超すイベントが期待できると思っている。

アクセス道路や周辺の施設整備の状況は

中倉議員

今後、ビーチスポーツの一層の振興をはかる時出来るだけ利用しやすい周辺施設の整備が必須になってくると思われる。また、会場に至るまでに車の離合が不便な区間もあるが、周辺施設とアクセス道路について一体的に整備していく考えはないか。

規模の拡大と共に前向きに取り組む

町長

アクセス道路に関しては、当面の間、既存の道路を使用していくつもりであるが、イベントが大きくなるにつれてその必要性は出てくると思う。周辺施設についても大きな大会の誘致が実現するようであれば、観覧席のスタンドや更衣室・シャワーなどの施設整備が必要になってくると思われる。このことはプロジェクト構想と勘案しながら前向きに取り組んでいきたいと思っている。



フェスタでのビーチバレーボール

イベント定着のため地域との関わりあいは

中倉議員

今後、このビーチスポーツフェスタを大崎町に定着させるために地域との関わりをどのように考えているのか。

地域や各種団体の一体的な協力を望む

町長

恵まれた自然環境を活かし、県内や国外でも有数のビーチスポーツの大会となっていく場所であるという認識を地域の方々と体育大学、スポーツ団体と共に持ちながら一体性を持って作り上げることが大切だと思う。このスポーツプロジェクト構想を着実に現実に向けて前向きに取り組んでいく。